



## SDM テンプレートの設定

- [SDM テンプレート \(1 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートとスイッチ スタック \(1 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの設定方法 \(2 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートのモニターリングおよびメンテナンス \(3 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの設定例 \(3 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートに関する追加情報 \(4 ページ\)](#)
- [SDM テンプレートの機能履歴 \(5 ページ\)](#)

## SDM テンプレート

SDM テンプレートを使用してシステム リソースを設定すると、特定の機能に対するサポートをネットワーク内でのデバイスの使用方法に応じて最適化することができます。一部の機能に最大システム使用率を提供するようにテンプレートを選択できます。

Cisco Catalyst 4500 シリーズ スイッチは、次のテンプレートをサポートしています。

テンプレートを変更し、システムを再起動した後、**show sdm prefer** 特権 EXEC コマンドを使用して、新しいテンプレート設定を確認できます。**reload** 特権 EXEC コマンドを入力する前に、**show sdm prefer** コマンドを入力すると、**show sdm prefer** コマンドにより、現在使用しているテンプレートおよびリロード後にアクティブになるテンプレートが表示されます。

## SDM テンプレートとスイッチ スタック

1つのスイッチスタックで、すべてのスタックメンバにより、アクティブなスイッチに保存された同一の SDM テンプレートを使用する必要があります。新規スイッチがスタックに追加されると、アクティブ スイッチに保存された SDM コンフィギュレーションは、個々のスイッチに設定されているテンプレートを上書きします。

**show switch** 特権 EXEC コマンドを使用すると、スタック メンバが SDM 不一致モードになっているかどうかを確認できます。

# SDM テンプレートの設定方法

## SDM テンプレートの設定

SDM テンプレートを使用して機能動作を最適にサポートするには、次の手順を実行します。

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **sdm prefer access**
4. **end**
5. **reload**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device> <b>enable</b>	特権 EXEC モードを有効にします。 パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Device# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>sdm prefer access</b> 例： Device(config)# <b>sdm prefer access</b>	スイッチをアクセステンプレートに設定します。
ステップ 4	<b>end</b> 例： Device(config)# <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 5	<b>reload</b> 例： Device# <b>reload</b>	オペレーティング システムをリロードします。 システムの再起動後、 <b>show sdm prefer</b> 特権 EXEC コマンドを使用して、新しいテンプレート設定を確認できます。 <b>reload</b> 特権 EXEC コマンドを入力する

コマンドまたはアクション	目的
	前に、 <b>show sdm prefer</b> コマンドを入力すると、 <b>show sdm prefer</b> コマンドにより、現在使用しているテンプレートおよびリロード後にアクティブになるテンプレートが表示されます。

## SDM テンプレートのモニターリングおよびメンテナンス

コマンド	目的
show sdm prefer	使用中の SDM テンプレートを表示します。
reload	スイッチをリロードして、新しく設定した SDM テンプレートをアクティブにします。



- (注) SDM テンプレートには、テンプレートの一部として定義されているコマンドのみが含まれています。テンプレートで定義されていない別の関連コマンドがテンプレートで有効になっている場合、**show running config** コマンドを入力すると、該当するコマンドが表示されます。たとえば、SDM テンプレートで **switchport voice vlan** コマンドが有効になっている場合、(SDM テンプレートでは定義されていませんが) **spanning-tree portfast edge** コマンドも有効にすることができます。

SDM テンプレートを削除すると、そのような他の関連するコマンドも削除されるため、明示的に再設定しなければなりません。

## SDM テンプレートの設定例

### 例：SDM テンプレートの表示

次に、Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチのアクセステンプレート情報を表示する出力例を示します。

```
Device# show sdm prefer access
This is the Access template.
Number of VLANs: 4094
Unicast MAC addresses: 32768
Overflow Unicast MAC addresses: 1024
L2 Multicast entries: 8192
Overflow L2 Multicast entries: 512
L3 Multicast entries: 8192
Overflow L3 Multicast entries: 512
```

```

Directly connected routes:                24576
Indirect routes:                          8192
STP Instances:                            1024
Security Access Control Entries:          5120
QoS Access Control Entries:               5120
Policy Based Routing ACEs:                1024
Netflow Input ACEs:                       256
Netflow Output ACEs:                     768
Ingress Netflow ACEs:                     256
Egress Netflow ACEs:                      768
Flow SPAN ACEs:                           1024
Tunnels:                                  512
LISP Instance Mapping Entries:             512
Control Plane Entries:                    512
Input Netflow flows:                      32768
Output Netflow flows:                     32768
SGT/DGT (or) MPLS VPN entries:            8192
SGT/DGT (or) MPLS VPN Overflow entries:    512
Wired clients:                             2048
MACSec SPD Entries:                       256
MPLS L3 VPN VRF:                          255
MPLS Labels:                              2048
MPLS L3 VPN Routes VRF Mode:              7168
MPLS L3 VPN Routes Prefix Mode:          3072
MVPN MDT Tunnels:                         256
L2 VPN EOMPLS Attachment Circuit:         256
MAX VPLS Bridge Domains :                 128
MAX VPLS Peers Per Bridge Domain:         32
MAX VPLS/VPWS Pseudowires :              1024

```

These numbers are typical for L2 and IPv4 features.  
Some features such as IPv6, use up double the entry size;  
so only half as many entries can be created.  
\* values can be modified by sdm cli.

## 例 : SDM テンプレートの設定

```

Device(config)# sdm prefer access
Device(config)# exit
Device# reload
Proceed with reload? [confirm]

```

## SDM テンプレートに関する追加情報

### 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
この章で使用するコマンドの完全な構文および使用方法の詳細。	<i>Command Reference (Catalyst 9300 Series Switches)</i>

## SDM テンプレートの機能履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

リリース	機能	機能情報
Cisco IOS XE Everest 16.5.1a	SDM テンプレート	標準の SDM テンプレートを使用すると、システムリソースを設定して、特定の機能のサポートを最適化できます。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェアイメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> [英語] からアクセスします。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。